平成３０年度第２回たかまつ移住応援隊ミーティングの結果について

平成３０年度第２回たかまつ移住応援隊ミーティングを開催した結果は次のとおりでした。

日　時　：　平成３１年２月２３日（土）午前１０時３０分～正午
会　場　：　市民交流プラザＩＫＯＤＥ瓦町　多目的スタジオ
（高松市常磐町１－３－１　瓦町ＦＬＡＧ８階）
参加者　：　移住リーダー２人、移住サポーター１５人・団体
内　容　：　「たかまつ移住応援隊移住サポーターの在り方について」をテーマに、たかまつ移住応援隊の移住サポーターとしての役割や、今後のサポーター自身の移住応援隊への関わり方や取り組んでいきたいことなどについて話し合いました。

＜ミーティングの場で出された主な意見等＞

「たかまつ移住応援隊移住サポーターの在り方について」

〇いろんな年齢層や家族構成の人たちに、それぞれフィットするような情報を移住サポーターとして提供していければいいと思う。また、病院やスーパー、災害時の避難先など、移住してきたばかりの人が知りたがっている情報を提供していくことも大事だと思う。

〇地域の中で、まだ、あまり知られていない、埋もれている情報についても掘り起こしていくことが必要である。また、移住してきた人が地域に溶け込みやすくするためにも、移住者を集めた交流会などの回数をもっと増やしていければいいと思う。

〇移住者の困りごととして出てきた情報を、移住サポーターが１つのブログ等で発信することにより、そこに情報が蓄積し、相談者がいろいろな情報を得ることができると思う。

〇２、３年程度滞在の転勤族に対しても、高松を好きになってもらい、また、高松を離れた後も来てもらいたくなるようなアプローチも必要である。

〇大学生などの若い人に向けた情報発信をやっていくような工夫も必要だと思う。

〇首都圏で、大企業を辞めて移住してくる人で、「嫁ターン（奥さんの出身地への移住）」が多いらしいので、「嫁ターン」関係のセミナーをやってもいいと思う。

〇瀬戸・たかまつ移住＆キャリアサポートセンターの活用

・各企業が求人に困っているということなので、求人情報を何らかの形で発信していく仕組みづくりが必要である。

・正社員でのマッチング以外にも、短期やアルバイト等の採用情報についても対応できたらいいと思う。